

# 舟山

発行者  
幸田町立南部中学校  
鈴木 一也  
第121号

## 創～思い出の1ページ～



お台場にて (修学旅行)

一学期末テストを終え、運動部は夏の大会に向け、毎日がんばっています。  
さて、六月は三年生が修学旅行(六〜八日)に出かけ、二年生は三十五か所の事業所にご協力いただき職場体験学習(七〜九日)を行いました。  
学校の中ではできない貴重な体験を通して、多くのことを学びました。これからの活動に生かしていきたいと思えます。

### 思い出に残った修学旅行

三年 山上 美結

三日間の修学旅行ではたくさんの思い出ができました。私は「学校のみならず行く」ということを頭に入れ、さまざまな人と関わる時間を多くしました。

班別行動では、互いの意見を尊重しながら行きたいところを決めたり、いつもは乗らない絶叫系のアトラクションに勇気を出してチャレンジしたりしました。

ディズニーアカデミーでは、実際のキャストさんから「当たり前のこともしっかりやる」ということの大切さを改めて教えていただき、これからの生活で実践していきたいと思いました。

修学旅行に行けたことで、これまでになかった感性を身につけることができました。これからも人との関わりを大切に、日々成長していきます。



ディズニーアカデミーでの様子

### みんなで創った修学旅行

三年 天野 巨琉

「楽しい思い出を創る」「雰囲気創る」「自分を創る」というテーマで六月六日から二泊三日の修学旅行に行ってきました。

特別な修学旅行にしたいという思いから実行委員長に立候補しました。みんなが楽しめるように、全体のルールやきまりを話し合っ決めて、しおり作成も行ったりしました。

東京では、学校で行っている挨拶や返事、時間を守った行動など「自分たちの当たり前」が現れたと思います。様々な方と出会い、当たり前前の考え方や自分たちの当たり前前のレベルが、まだまだ低いことを実感しました。

みんなでディズニーシーのアトラクションに乗ったり、浅草で買い物をしたりした時間もとても楽しい思い出となりました。

これからも学年目標「結進」をみんな意識して、この学びが生きるように前向きな雰囲気創っていき、レベルアップした生活をしていきたいです。



ガンダムと一緒に

### 農家の方のプライド

二年 伊藤 那歩

平岩農園の方は、最低限の農薬でブドウを育てていると知りました。お客さんには体によいものを取り入れてもらい、生まれてくる赤ちゃんが、健康に生まれてきてほしいという願いがあるからだそうです。食べたあとのことも考えているんだなど、私は心が温かくなり、お客さんと思う気持ちがすごく大切だということがわかりました。また、ブドウにビニールをかける際に最後までしっかりとやり、品質を下げないぞと、プライドをもって作業をしている姿が、カッコいいなと思いました。

職場体験を通して、農家の方の大変さがよくわかりました。さまざまな職業が人々の生活を支えており、どの職業の人にも大切な存在だと気づきました。



ブドウの袋かけ (職場体験)

## お客様の笑顔

二年 長谷 璃奈

私は職場体験学習で、森のケーキ屋クリムに行きました。自分が元気に笑顔でいると、まわりの人達も笑顔になり、明るい雰囲気になったことがうれしかったです。特に、「ありがとうございます」という言葉を意識的に言うようにしていました。自分までよい気持ちになりましたので、日常生活でも「ありがとうございます」という言葉をたくさん使っていきたいと思いました。

まわりの友達が将来のことを考えているのに対して、私はどうしたらよいのか分からなくて不安でしたが、オーナーさんや従業員の方の話を聞くと、今の私のように、将来の夢がなかったけれど働いてみてわかったことがたくさんあったとお聞きしたので、焦らずに、自分のペースで考えていこうと思いました。



クリーム詰め (職場体験)

## みんなのために

一年 横井 青葉

今日は、プール掃除がありました。大変だろうなとは思ったけど、みんなでプールに入るためにがんばろうと思いました。いつも私たちのために動いてくれる先輩たちに少しでも恩返しになればいいと思います。

最初は、プールサイドの掃除をしたり溝の落ち葉などを集めたりしました。ブラシでしっかり磨いていくときれいになっていきさらにやる気になりました。自分の場所が終わっても困っている友達を助けに行く子もたくさんいて、みんなで協力してやる姿があつていい学年だなと思いました。今回とても大変だったけど学年で協力することで時間も早く終わることができました。みんなで協力すればすぐに終わることができるとは思いません。でもできると感じました。これからもみんなで協力してどんどん挑戦していきたいと思いました。



一年生みんなでプール掃除

## 起震車体験から学んだこと

一年 佐野 杏華

先日、起震車体験がありました。外で見ているときはあまり怖くないかなと思っていました。でも、クラスの最初の人が体験しているのを間近で見たら机の脚を必死につかんでいても、すごく揺れていてとても怖くなりました。実際に自分で体験したときは三十秒しかなかったのにすごく長く感じました。講師の先生の話だと、この揺れが五分間以上続くと言っていたし、地震はいつ、どこでくるかわからないので、この体験よりもっと怖いと思いました。

話の中で、家具の固定の話もしてくださりました。家の家具は安全な場所にあるのか、固定されているのかをしっかりと確認したいと思いました。いつ地震がきても落ち着いて対応できるように、日々の準備が大切だと感じました。また、家でも家族と話をして、地震に備えていきたいと思えた一日になりました。



起震車体験

## 楽しむ華道の時間

一年 蜂谷 百花

私が選んだ交流会の講座は華道です。生けてある花を見ると、とてもきれいで自分もやってみたいと思います。華道に挑戦しようと思いました。一回目の交流会は花を生けることに集中してしまい、講師の先生や友達とあまり交流ができませんでした。だから今回の交流会では、講師の先生とたくさん話していこうと決めて参加しました。

生けているときも、講師の先生に花の向きや全体のバランスの取り方などをアドバイスしてもらい、自分でも納得できる作品になってとてもうれしかったです。友達からも「上手だよ」とほめてもらえたこともよかったです。

今年の交流会は、あと二回あります。この二回では今まで学んだことを生かして華道を楽しみ、さらに良い作品にしていけたらいいと思っています。



交流会 (華道)